



【看護の日の催しが開催されました。7頁】

目次

- 患者満足度調査の結果について … 2～3
- ねっとわーく
伊藤医院 …………… 4
下久堅診療所 …………… 5
- 熱中症予防のための
水分補給について …… 4～5
- がんの医療連携と
地域連携クリティカルパスについて … 6
- 話題の広場 …………… 7
看護の日
食育の日
- 検査の窓 …………… 8
大腸菌による食中毒
- 職場紹介 …………… 8
リハビリテーション科 その① (理学療法士)
- 新任医師の紹介 …………… 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

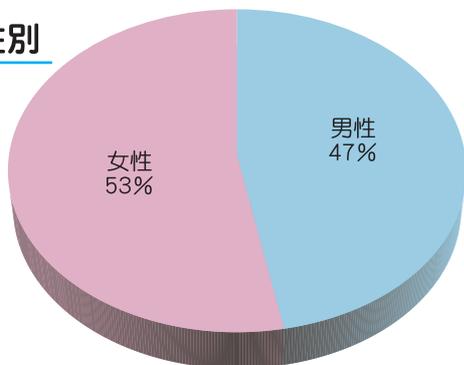
私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

患者満足度調査

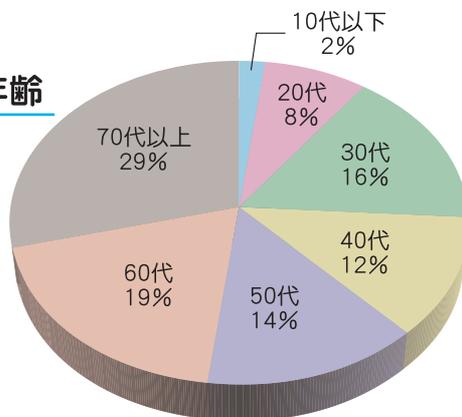
医療サービス推進委員会では、飯田にアンケート調査を実施し、外来患者しました。多くの皆様にご協力い

外来 回答数 691名

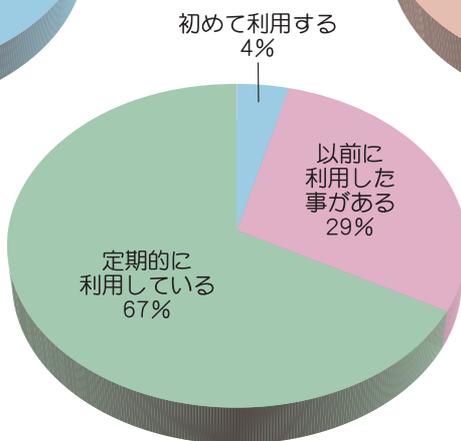
性別



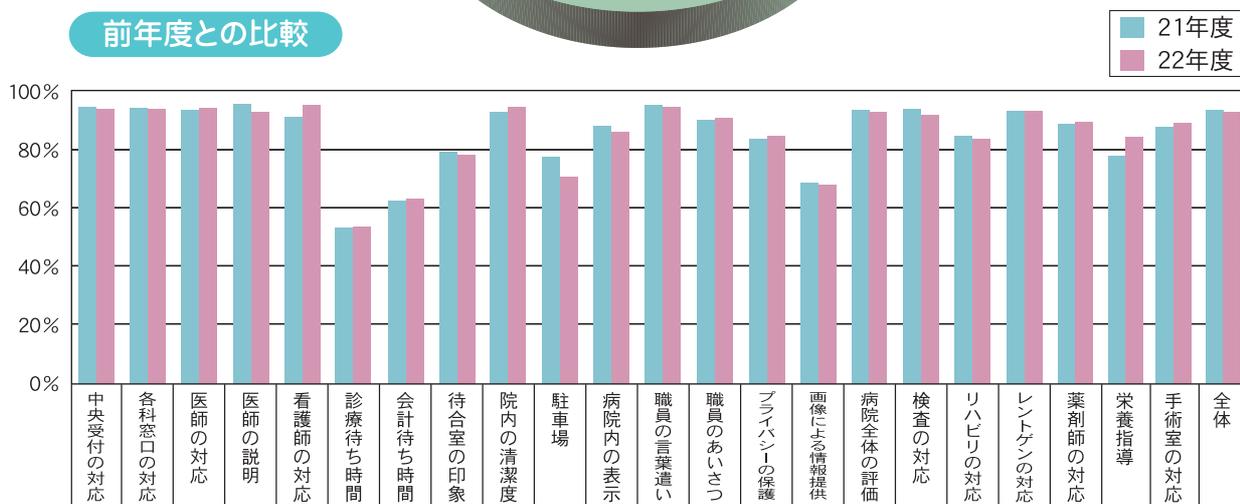
年齢



利用回数



前年度との比較



- ◎患者満足度が最も低い項目は「診療待ち時間」で、53.4%でした。(前年比+0.3ポイント)
- ◎受付、各科窓口、医師、看護師の対応、院内の清潔度、職員の言葉遣い、職員のあいさつ、検査・レントゲンの対応は、90%以上の方から満足の評価をいただきました。
- ◎全体の満足度は92.4%で、前年に比べて0.7ポイント下降しました。

● 患者さんからの要望にお答えして改善しました

- 3階東病棟及び5階東病棟の浴室を改修し、シャワーバスを設置しました。 小児科
- 地下1階のトイレを和式から洋式に変更しました。 病室の
- 1階の身体障害者トイレ（採尿トイレ横）を改修し、多目的シートを設置しました。 図書コ

外来・入院ともに、評価が低かった項目につきましては、ご意見、

市立病院の環境整備を進めるため、2月
者さんや入院患者さんからご意見をお聞
ただき、ありがとうございました。

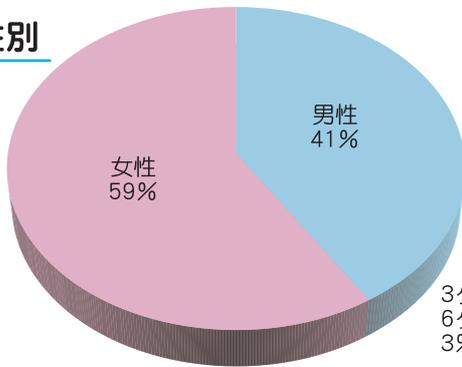
満足度について

本調査では5つの評価項目のうち、「満足」「一応満足」と回答
のあったものを「満足度」として数値化しています。

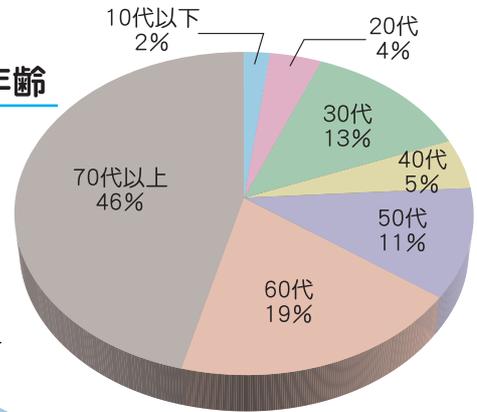
(評価項目：満足、一応満足、どちらともいえない、やや不満、不満)

入院 回答数 190名

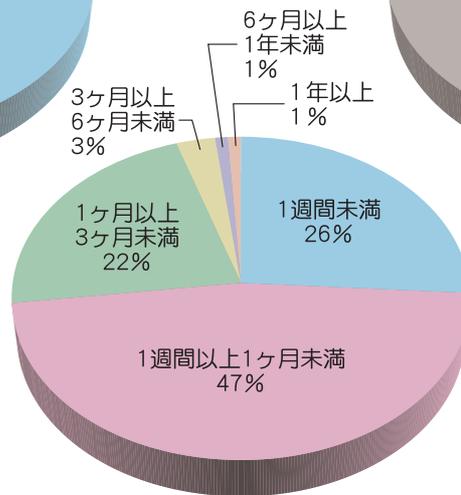
性別



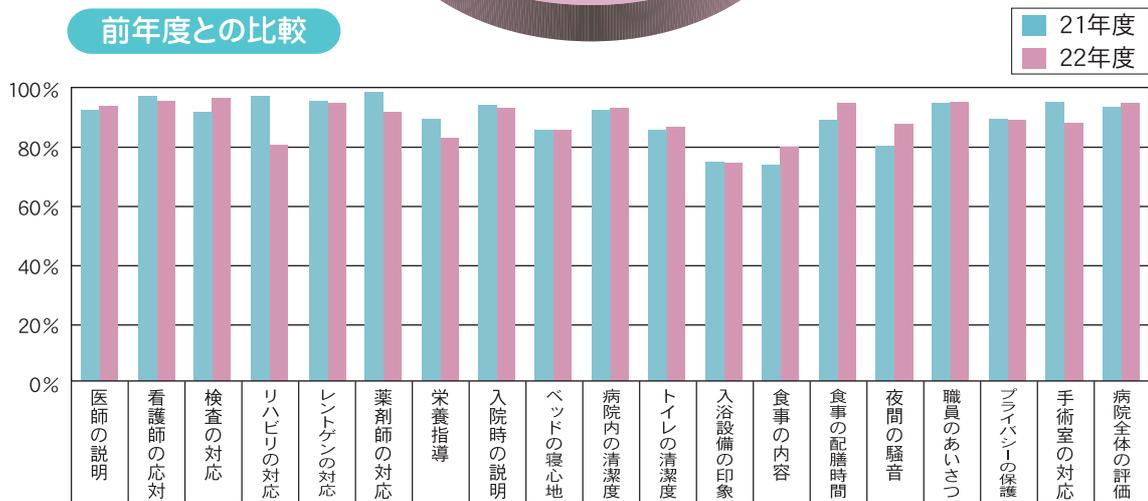
年齢



入院期間



前年度との比較



◎比較的満足度の低い項目は、「入浴設備の印象」で74.2%、次は「食事の内容」で79.5%でした。

◎全体の満足度は94.4%で、前年に比べて1.3ポイント上昇しました。

前のトイレ（男女共）全ての個室にベビーチェアを設置しました。

テレビを地デジ対応テレビに更新し、飯田ケーブルテレビに接続することにより市民情報が視聴可能になりました。
コーナーの図書を入れ替えました。

ご要望を参考にさせていただき、さらに改善に努めてまいります。



伊藤医院

(飯田市龍江)



二代目かかりつけ医

院長 伊藤朝樹

日頃、飯田市立病院はじめ、当地域の病院スタッフの皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。

当院は、峡谷美や船下りなどで知られる「名勝 天龍峡」のすぐ近くの飯田市龍江に、私の父（初代院長：故伊藤龍雄・信大卒）が昭和32年に開院しました。

私は、昭和59年に藤田保健衛生大学医学部を卒業し、同大病院等で研修後、家に戻り、父と共に診療して来ました。途中、高松病院内科に4年間勤務させていただき、平成9年4月からは私が二代目として、父が築いた

医院を継承しています。

現在は、一般外来診療の他、養護老人ホーム（100床）の嘱託医、訪問診療（水・土曜日の午後）、学校医の仕事等を行なっています。

往診も行い、条件が整えば、在宅・施設での高齢者の看取りも、年間数件ですが行なっています。

特に、専門や特徴はありませんが、なるべく患者さんの話をよく聞くように心掛けて、天龍峡界限の高齢者を中心に、内科一般の診療を続けています。

開業医の役割も数多くあ

り、当院で出来ることはそれほど多くはありませんが、気楽に医療相談等に応じられ、少しでも地域のお役に立てるような「二代目かかりつけ医」を目指して、努力していきたいと思っています。



伊藤先生(左)とスタッフの皆様

所在地	〒399-2221 飯田市龍江7058-1 ☎0265-27-3040
診療科目	内科
診療時間	9時00分～12時00分 15時00分～17時00分
休診日	水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日
往診	可
駐車場	あり



熱中症予防のための水分補給について



昨年の猛暑では、熱中症になる人が多数でした。今年も暑い日が続き、すでに熱中症になる人が多くなっています。

熱中症を防ぐには、『こまめな水分摂取』『塩分の補給が必要』という2点が重要です。特に塩分の補給については、大量に汗をかくことで、水分だけではなく塩分も同時に失われていることをつい忘れがちです。

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

下久堅診療所

(飯田市下久堅)



在宅支援診療所として

(医) 輝山会 統括診療所長 仁科裕之

下久堅診療所は、長年にわたり下久堅地区の保健、医療、福祉にご尽力された宮内九朗先生がご引退されることになり、下久堅地区自治協議会が地元の皆さんの2300名を超える署名を付して、飯田市議会に当該地区に診療所設置を請願して、採択されました。そこで、飯田市から当法人に対して、診療所開所の要請をいただき、平成9年6月1日診療所開設の運びとなりました。

宮内先生から、下久堅小学校医、下久堅保育園医を漸次引き継ぎ、また、先生にかかりつけの多くの患者さんをご紹介ご委託を賜り現在に至っております。

現在、私は輝山会が開設する3診療所(下久堅、下條、上久堅)を統括、一元管理する任にあ

ります。輝山会記念病院の医師達や、この地域の他の医療機関、脳外、循環器などの専門医および訪問看護ステーション等と連携を取りながら、地域の方々の健康管理と訪問診療を中心とした在宅医療を行なう毎日です。診療内容は、午前は外来診察を行い、午後は通院できない在宅患者様の訪問診療が中心となります。

在宅支援診療所として外来、訪問診療の他、365日24時間体制で終末期を在宅で迎えたい方の支援のほか、患者様からの往診依頼や相談などに対応できるよう体制を整えています。

また、定期的に診療所主催での健康講座を開催し、地域の方々が毎日元気で過ごせるよう健康管

理にも力を入れています。

今後も飯田市立病院および輝山会記念病院をはじめ、その他の医療機関、施設などと連携を一層深め、地域の方々が安心して生活できるような診療所としての役割を果たしてまいりたいと考えています。



仁科先生(中央)とスタッフの皆様

所在地	〒399-2603 飯田市下久堅知久平110 ☎0265-29-6011
診療科目	内科・外科
診療時間	外来診療 9:00~12:00 月曜日~金曜日 訪問診療 9:00~12:00 火曜日 13:00~18:00 月曜日~金曜日
休診日	土曜日、日曜日、祝日
往診	可
駐車場	あり



この状態で水だけを飲むと、血液の塩分濃度が薄まり、余分な水分は尿として排泄されてしまいます。その結果、体液の量が回復できなくなり、体温が上昇して『熱けいれん』を起こす可能性もあります。水分補給は、塩分と糖分を含んだもので補うようにしましょう。

塩分と糖分も
いっしょに!



がんの医療連携と地域連携クリティカルパス -第4回-

シリーズ4回目は、地域連携クリティカルパスを利用する患者さんがお持ちいただく「医療連携手帳」の中身について触れてみたいと思います。

■手帳ってどんなものなの？

手帳の大きさはA5サイズのブック型です。中身はカラーで見やすく、どなたにも分かりやすい内容で書かれています。

■具体的にはどんなことが出来るの？

- ①治療内容等の基礎的な診療情報と治療後の日常生活における注意事項がわかります。
- ②初回の治療後から5年間の診療計画（肝がんは3年間、乳がんは10年間）を確認できます。
- ③体調面の自己チェック表がついているので、受診の都度、心配なことを医師に相談できます。

※診療計画表に基づいた受診日には、必ず体調について医師に相談しましょう。



パス（診療計画表）

「市立病院」と「かかりつけ医」が統一した方針で診療を行なうための計画表です。毎月の診療スケジュールが、手帳を見れば一目で分かるようになっています。※大腸がん経過観察パスの場合は、年間の計画表となっております。

検査伝票コピー等貼付欄

検査伝票などを貼り付けておくスペースです。検査結果をいつでも確認できます。

大腸がん術後連携パス(手術後～6ヶ月)				
○：必須項目 △：必要時に行います				
(連携開始後)				
	かかりつけ医 1ヶ月	かかりつけ医 2ヶ月	かかりつけ医 3ヶ月	
診察	問診	○	○	○
	腹部症状	○	○	○
	排便	○	○	○
	腹部理学所見	○	○	○
視触診	一般的内科的診察	○	○	○
	直腸指診(首觸診)	○	○	○
検査	血液検査をします。	△	△	○
	画像検査をします。	△	△	△
投薬	△	△	△	

★かかりつけ医への受診情報はかかりつけ医の指示とおり！ ★検査のうち、かかりつけ医で行った分は飯田市立病院で受けます。 ★回があればまずかかりつけ医に相談を！			
	かかりつけ医 4ヶ月	かかりつけ医 5ヶ月	飯田市立病院 6ヶ月
問診	○	○	○
腹部症状	○	○	○
排便	○	○	○
腹部理学所見	○	○	○
視触診	○	○	○
血液検査をします。	△	△	○
画像検査をします。	△	△	△
直腸指診(首觸診)	○	○	○

自己チェック項目				
気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう				
体調	食事量(不良、良)	(++)	(++)	(++)
	便通の異常(有、無)	(++)	(++)	(++)
	腹痛(有、無)	(++)	(++)	(++)
	腹部膨満感(有、無)	(++)	(++)	(++)
	排尿障害(有、無)	(++)	(++)	(++)
	創部の異常(有、無)	(++)	(++)	(++)
	吐き気・嘔吐(有、無)	(++)	(++)	(++)
	全身倦怠感(有、無)	(++)	(++)	(++)
	めまい・冷や汗(有、無)	(++)	(++)	(++)
	その他、気になる症状などはないか			

自己チェック欄

毎回の診察前にご自身の体調チェックをし、受診時に主治医に確認してもらうためのものです。受診の際は必ず手帳を持参し、このページを主治医にお見せください。

受診時は、必ず医療連携手帳とお薬手帳を持参しましょう。

話題の たば場



パネル展示の様子



パンフレットでワンポイントアドバイス

看護の日 —東日本大震災における活動報告と もしものための防災ミニ知識—

5/12(木)

5月12日は「看護の日」です。ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定したもので、「看護の心をみんなの心に」という思いが込められています。

毎年、看護の日に合わせてイベントを行っていますが、今年は東日本大震災における当院のDMAT（災害派遣医療チーム）・医療班の活動報告のパネル展示を行いました。あわせて、「看護師が提案する、もしものためのワンポイントアドバイス」として、防災ミニ知識の展示とパンフレット配布を行いました。防災ミニ知識では、避難先で薬の名前と容量を伝えられるよう、お薬手帳のコピーを非常持ち出し品に加えることを勧めたり、新聞紙とラップでの防寒対策などを紹介したりしました。また病棟では、入院患者さんへメッセージカードと絆創膏をお渡しし、患者さんやご家族を支援し応援する気持ちなどを、受け持ち看護師から患者さんにお伝えしました。

いつおこるか分からない、また、おこらないかもしれない災害ですが、日頃からの備えは大切です。今回のイベントが、災害に対する準備や、家族で防災対策について話すきっかけになればうれしいです。



防災ミニ知識を展示で紹介

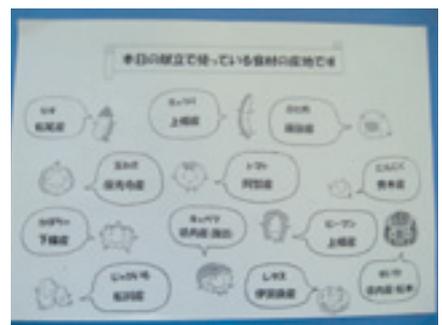
地域の食材を使って —食育の日

『地産地消』とは、地域で生産されたものをその地域で消費することをいいます。地元でとれる旬の食材は新鮮で栄養価も高く、地域の農業の活性化にもつながるので、なるべく地域でとれたものを消費しようという取り組みです。食育推進基本計画では毎月19日は食育の日とされており、当院では昨年8月19日に、食育の日の取り組みとして地産地消をテーマに、地域の旬の食材のみを使った食事を提供しました。メニューは飯田下伊那でとれた夏野菜を使ったカレーがメインで、当日は食事とともに食材の産地を書いたカードを添えさせていただきました。

今年も8月19日に食育の日を予定しています。



昨年のメニュー



食材の産地を書いたカード



検査の窓

その20

大腸菌による食中毒

最近発生した、ユッケによる食中毒の原因菌O-111(オーいちいちいち)と、ドイツを中心に欧州で広がるO-104(オーいちれいよん)は、菌の中でも特に毒力の強い毒素(ベロ毒素)を産生する大腸菌です。

大腸菌は家畜や健康な人の腸内に存在する細菌で、そのほとんどが無害ですが、中にはベロ毒素により出血を伴う腸炎などをおこし、重症化あるいは死にいたることもあります。

手指や調理器具は十分洗い清潔を保

つこと、肉や生野菜など汚染が心配されるものは十分加熱することで、食中毒が心配される季節を乗り越えましょう。



培地に発育した大腸菌



顕微鏡でみる大腸菌

シリーズ ● 職場紹介 ●

その29

【リハビリテーション科の紹介 その① (理学療法士)】

理学療法とは、病気・ケガ・寝たきりなどによって身体が不自由になった方々に対し、身体と心の両面から機能回復を図る医療の一つです。当院には、14名の理学療法士が在籍し、入院と外来の患者さんのリハビリテーションを行っています。対象となる患者さんは、外来では、小児疾患や整形外科疾患の方が多くみえます。入院では、脳卒中や整形外科の手術後の方を始めと

して、神経難病、外科の手術後などさまざまな疾患が対象になります。関節の動く範囲を大きくしたり筋力を付けて、立ち上がり・歩行などの基本動作や、日常生活の動作が可能になるように治療させていただいています。

必要に応じて、家の住環境の調整なども行わせていただいています。



あ と が き

リニア中央新幹線は、5月に南アルプスを貫くCルートを経路とする整備計画が決定され、いよいよ夢の「リニア飯田駅」が現実のものとなり、地域の発展に大きな期待が寄せられています。リニア時代を見据え、安心して健やかに暮らせるまちづくりに向けて、これからも更なる医療の充実に取り組んで参ります。

編集委員 大島康弘

新任医師の紹介

平成23年4月2日～7月16日



整形外科

渡邊 佳洋

(わたなべ よしひろ)
平成20年3月卒業
平成23年7月1日着任
前勤務病院
信州大学付属病院



乳腺内分泌外科

伊藤 勅子

(いとう ときこ)
平成11年3月卒業
平成23年5月18日着任
前勤務病院
信州大学付属病院



整形外科

上條 哲義

(かみじょう てつよし)
平成14年3月卒業
平成23年7月16日着任
前勤務病院
篠ノ井総合病院